

界にも専門雑誌がいくつもあり、ブームがあるとそんな記事で埋め尽くされます。また、テレビなどで取り上げられると一般の方からも問い合わせがきたりします。しかし、やっぱりブームなので皆が飽きた頃になるとそんな話がなくなってしまうんです。どの業界にもあるのかもしれないが、これっておかしいですよ。特に僕たちのような医療に流行り廃りがあるなんて。

僕は歯科医師になって十五年ほどですが、このようなブームが五つくらいありました。これらを経験してよく分かったことは、ブームになったとたんに上辺だけの勉強で取り上げる医療者がとても多いことです。そのような人たちは結果が思わしく出ないのでどんどん手を引いてしまいます。本当に歯科医師としての見

識で正しく診査・診断をし、適応に応じてその方法を導入すれば当然結果もついてきますし、皆さんに対して良い医療を提供できるのだと思います。いい訳をすると、業者も「こんなに簡単にこんなに効果が出ますよ！」などという宣伝文句を出すのでのってしまうのですが。まあ、何を言っても最終的に施術した歯科医師の責任ですね。

個人的には、ブームが来ても静観する方です。「そんなんじゃないあ新しい技術が身につかない」なんて思っている方はいませんか。いえいえ、そんなことないんですよ。僕たちが得意としている入れ歯なんて平安時代か



らほとんど変わっていない技術なんです（材質は大分変わりましたが）！まさに伝統芸能。それに限らず、歯科の本質にしっかりと合った技術と知識を実践しようと思っています。

ブームが必ずしも悪いわけではありませんが、使いようですね。

### 秋の予定

私たちの業界（？）では今月から学会、研修会のシーズンになります。多くは週末、休日開催なのですが、平日にお休みを頂いたり、時間を早く切り上げる日もあります。

今月は十四日（金）を休診、その他は土曜日で若干早く（三十分くらい）切り上げる日があると思います。あらかじめご了承ください。